

STANDARD

証券コード:9051



Senkon Logistics Report

第67期 事業のご報告

2025年4月1日 ▶ 2026年3月31日



センコン物流株式会社

TSUNAGU LOGISTICS SUPPLIER



国際物流

顧客のニーズに対し、コスト、スピードを重視し、あらゆる輸送モード（陸・海・空）でワンストップサービスを実現。



製造請負

物流のコンシェルジュとなり、クライアントのコア・コンピタンスを実現します。



トランクルーム

保管のプロが預かる「klassy」シリーズ。倉庫の「空間」を活用し、暮らしとビジネスに寄り添います。



タイヤ保管

保管場所に困る、履き替え用のタイヤ。集荷、保管、配送を一括請負いたします。



文書保管

文書保管を外注し、オフィスを効率的に運用！預けた文書はPCで管理できる「klassy biz」。



危険品取扱い

取り締まりが厳しくなる「危険物」の取扱い。専門施設の保管で、+αの価値を提供いたします。



モーダルシフト

環境のためにも、コスト削減のためにも、トラック輸送以外の輸送手段を提供いたします。



物流不動産

東北を知り尽くしたセンコン物流だから実現できるニーズに応じた物流不動産の仲介。



海外商流支援

貿易に関する書類作成からパートナー探しまで、日本のアウトバウンドをサポート。



環境への取り組み

センコン物流では、環境保全に対する様々な取り組みを行っております。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第67期のご報告をお届けいたしますので、なにとぞよろしく願い申し上げます。

当連結会計年度の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や企業収益の底堅さを背景に、個人消費や設備投資に持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復基調で推移しましたが、一方で物価上昇の継続や中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー価格の上昇に加え、為替や金融市場の変動などもあり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境におきましては、物流事業において国内貨物輸送量が力強さを欠くなか、人手不足や燃料費の高止まりなどに加え、乗用車販売事業においては自動車需要の構造変化や整備要員の慢性的な不足もあり、企業活動を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような経営環境のなかで当社グループは、引き続き各事業分野において社会環境等の変化や顧客ニーズに対応したソリューション型の営業活動及びCS（顧客満足度）活動を展開するとともに、継続した3PL（企業物流の包括的受託）事業、アウトソーシング事業、フォワーディング事業、レコードマネジメントサービス事業及びトランクルーム事業の専門化に注力し、各事業分野における新たな領域での戦略を推進しながら、事業の伸長に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の営業収益は、運送事業において化学製品等の輸送量及び乗用車販売事業の新車販売において高価格帯車両の販売が増加したことに加え、中古車販売ならびにサービス部門（車検・点検修理等）



代表取締役会長兼社長
久保田 賢二

の取扱いも堅調に推移したことなどにより、19,919百万円（対前年同期比105.8%）となりました。利益面におきましては、増収効果はあったものの、乗用車販売事業において新拠点のオープン費用と人件費の増加及び採石事業において在庫製品（砕石）の収益性の低下を踏まえ、棚卸資産評価損を計上したことなどにより、営業利益は569百万円（対前年同期比70.0%）、経常利益は556百万円（対前年同期比59.5%）、親会社株主に帰属する当期純利益は非支配株主に帰属する当期純利益が増加したことなどにより、167百万円（対前年同期比33.0%）となりました。

配当金について

2026年6月26日開催の定時株主総会において、第67期の期末配当金を、1株につき7.50円とさせていただくことに決定いたしました。

今後も、株主の皆様への利益還元を念頭に置きながら、安定的な配当の継続と内部留保の充実に努めてまいります。

決算ハイライト

Consolidated Financial Highlights

通期連結業績ハイライト

営業収益

19,919 百万円

前期比
+5.8%

営業利益

569 百万円

前期比
△30.0%

経常利益

556 百万円

前期比
△40.5%

親会社株主に帰属する当期純利益

167 百万円

前期比
△67.0%

期末配当

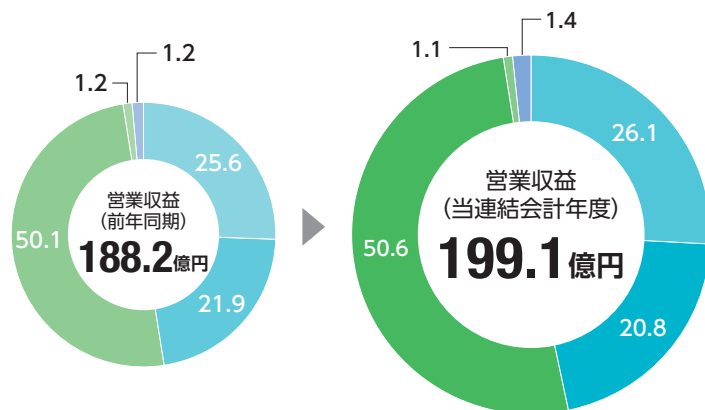
7.5 円

年間合計

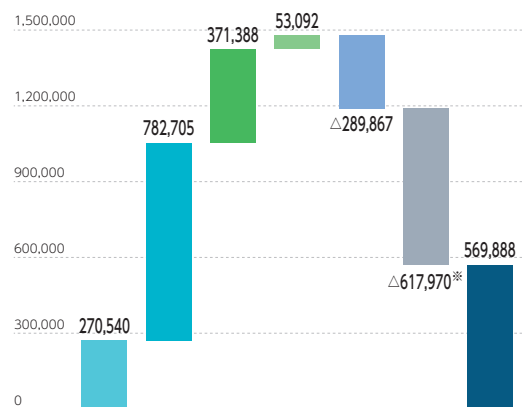
15.0 円

■ 営業収益構成比 (%)

■ 運送事業 ■ 倉庫事業 ■ 乗用車販売事業 ■ 再生可能エネルギー事業 ■ その他の事業 ■ 調整額 ■ 合計



■ 営業利益構成比 (千円)



*セグメント利益の調整額△617,970千円には、セグメント間取引消去5,574千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△623,545千円が含まれております。

セグメント別概況

Segment Overview



運送事業

運送事業につきましては、化学製品及び農業機械等の輸送量が増加したことなどにより、営業収益は5,225百万円(対前年同期比107.9%)となりました。営業利益は、増収効果と輸送車両のリース減価償却費等が減少したことなどにより、270百万円(対前年同期比172.6%)となりました。



倉庫事業

倉庫事業につきましては、政府備蓄米放出の影響はあったものの、米穀出荷の付帯作業(品質検査)及び建設関連貨物等の受注高が増加したことなどにより、営業収益は4,154百万円(対前年同期比100.4%)となりました。営業利益は、外注費等の減少により、782百万円(対前年同期比101.2%)となりました。



乗用車販売事業

乗用車販売事業につきましては、新車販売において高価格帯車両の販売が増加したことに加え、中古車販売及びサービス部門(車検・点検修理等)の取扱いも堅調に推移したことにより、営業収益は10,126百万円(対前年同期比106.8%)となりました。営業利益は、新拠点のオープン費用と人件費の増加などにより、371百万円(対前年同期比87.7%)となりました。



再生可能エネルギー事業

再生可能エネルギー事業につきましては、太陽光発電において東北電力管内での出力制御及び一部発電設備の故障に伴う出力低下の影響により、営業収益は215百万円(対前年同期比94.4%)となりました。営業利益は、減収の影響により、53百万円(対前年同期比98.7%)となりました。



その他の事業

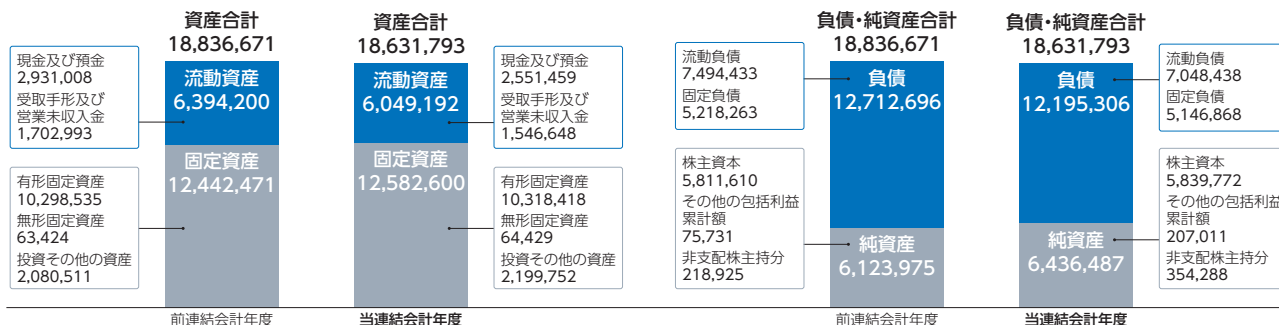
その他の事業につきましては、不動産事業において販売物件が増加したことなどにより、営業収益は277百万円(対前年同期比117.9%)となりました。営業損益は、採石事業において在庫製品(砕石)の収益性の低下を踏まえ、棚卸資産評価損を計上したことなどにより、289百万円の損失(前年同期は58百万円の損失)となりました。

財務諸表

Financial Statement

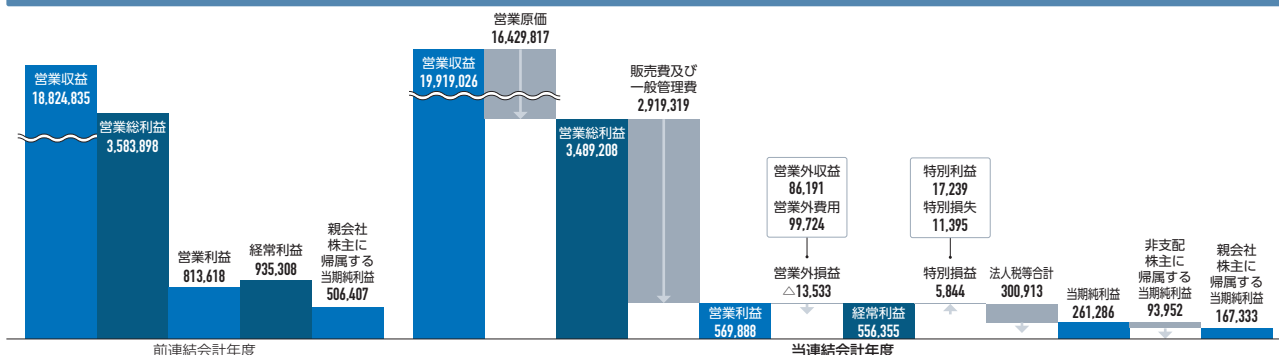
通期連結貸借対照表

(単位:千円)



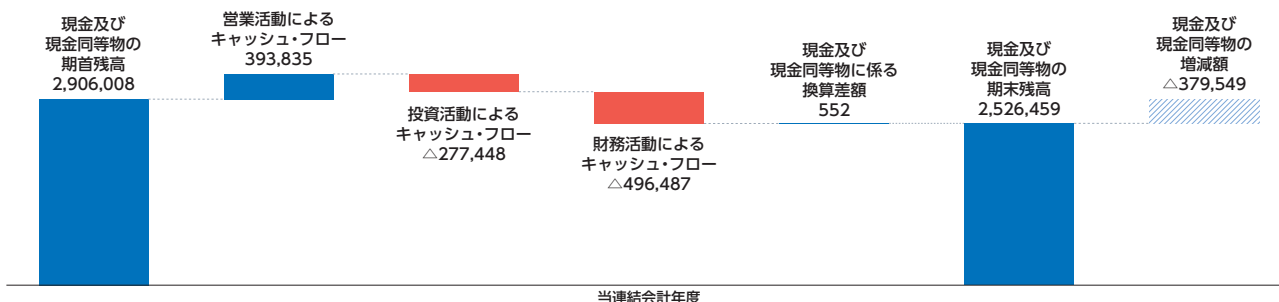
通期連結損益計算書

(単位:千円)



通期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)



→ 端材や梱包資材を活用した再生リサイクル活動

当社では、製造過程にて発生するスリット後の端材や、保管・輸送段階で発生する梱包資材を資源と捉え、有効利用の促進へパラダイムシフトする再生リサイクル事業に取り組んでいます。

プラスチック系廃棄物をペレット加工し、環境に配慮したパレット等に変えることで、処分時の環境負荷を下げ、CO₂の削減並びにリサイクル率の向上に貢献しています。

○再生リサイクル工程のイメージ



→ 機密文書を溶解処分しトイレットペーパーへ再生

当社では、これまで培ってきた「物流」のノウハウを活かした迅速な集荷を強みとした文書保管サービスに加えて、情報漏洩のリスクが高い廃棄媒体の処理までを請け負う文書溶解サービスを提供しています。

定期的に回収された不要文書は、箱ごと溶解処分することで、高い機密性を保ったままトイレットペーパーへと再生。環境負荷の低減やリサイクル率の向上につなげています。

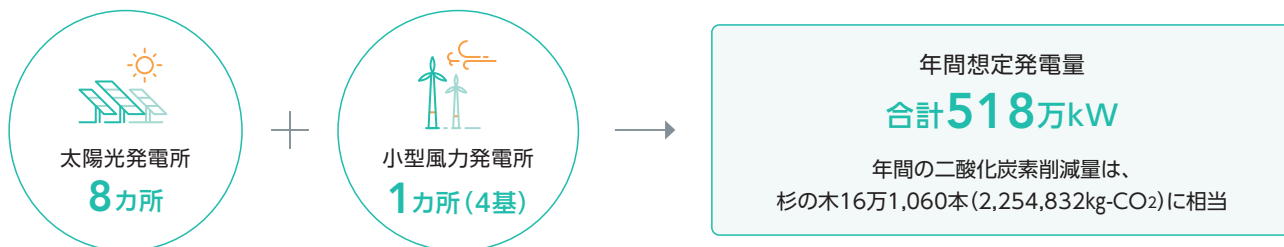
○再生リサイクル工程のイメージ



→ 再生可能エネルギー普及への取り組み

当社は、いち早く再生可能エネルギー事業(2013年度)へ参入し、自社発電設備を有する事で有事等におけるBCPにおいても、地域社会へ供給できる体制づくりに務めております。

これからも再生可能エネルギーの主力である太陽光発電及び風力発電の発展・普及に関わる事で、社会のニーズに応えられる企業として邁進してまいります。



→ グリーン経営認証制度における「認証事業所」の取得



当社は、運送事業における環境保護の取り組みの一環として、グリーン経営認証制度に基づき、「グリーン経営認証事業者」の認証を受けております。

グリーン経営の理念であります、運送事業者が自主的かつ計画的に環境を守るための対策を取りながら、燃費の向上や交通事故の減少など経営面での改善に努め、エコドライブのマネジメントや低公害車の計画的導入などを通じて、企業として環境に配慮するための取り組みを推進しております。

認証事業所

- 本社営業所
- 仙台港営業所
- 古川営業所
- 秋田営業所
- 北上営業所
- 山形営業所

株主優待制度の拡充に関するお知らせ

株主の皆様へ

日頃の感謝の意を込めて

当社は、株主の皆様へ日頃の感謝の意を込めて、株主名簿に記録された株主様に対し半期毎にお米、東北の特産品などを進呈しております。

この度、当社株式への投資魅力を高め、より多くの株主の皆様当社株式を中長期に亘り保有していただくことを目的に、株主優待制度を拡充することいたしました。

所有株式数
500株以上

▶ お米5kgまたは
東北の特産品

所有株式数
1,000株以上

▶ お米10kgまたは
東北の特産品

所有株式数
5,000株以上

▶ お米10kg及び
東北または北海道の特産品
(計10,000円相当)

所有株式数
10,000株以上

▶ お米10kg及び
東北または北海道の特産品
(計15,000円相当)

新設

所有株式数
20,000株以上

▶ お米20kg及び
東北または北海道の特産品
(計20,000円相当)

新設

所有株式数
30,000株以上

▶ お米30kg及び
東北または北海道の特産品
(計25,000円相当)



※写真はイメージです。

会社概要

(2026年3月31日現在)

商号	センコン物流株式会社 SENKON LOGISTICS CO.,LTD.
設立	1959年10月1日
従業員数	275 (連結473名)
主な拠点数	国内22拠点
資本金	1,262,736,500円
主な事業内容	一般貨物自動車運送事業、貨物軽自動車運送事業、貨物運送取扱事業、倉庫業、通関業

役員

(2026年3月31日現在)

【取締役（監査等委員である取締役を除く。）】

【監査等委員である取締役】

代表取締役会長兼CEO 久保田 晴 夫	取締役 小 柏 薫
※代表取締役社長 久保田 賢 二	取締役 佐 藤 裕 一
専務取締役 柴 崎 敏 明	取締役 川 田 増 三
取締役 久保田 秀 揮	
※取締役 吉 川 淳 也	
※取締役 花 澤 聡一郎	
取締役 團 雅 義	

(注) 1. ※印は執行役員を兼務しております。

2. 監査等委員である取締役小柏 薫、佐藤裕一及び川田増三の各氏は、社外取締役であります。

【執行役員】

社長執行役員 久保田 賢 二	常務執行役員 佐 藤 義 則
専務執行役員 吉 川 淳 也	執行役員 團 雅 義
専務執行役員 花 澤 聡一郎	執行役員 齋 藤 充 彦
常務執行役員 見 崎 以知郎	執行役員 相 原 香 織

主要連結子会社の概要

(2026年3月31日現在)

㈱ホンダカーズ埼玉西

埼玉県狭山市 資本金90百万円（当社議決権比率79.8%）
乗用車販売事業

㈱センコンエンタープライズ

宮城県名取市 資本金30百万円（当社議決権比率100.0%）
乗用車販売事業、再生可能エネルギー事業、不動産事業、リース事業、葬祭事業、採石事業

主な拠点

(2026年3月31日現在)

宮城県

仙台本社 名取本社 本社営業所 仙台港営業所 仙台空港営業所
古川営業所 仙台北部ロジスティクスセンター RM事業部
船岡構内事業所

東北

北上営業所 金ヶ崎物流センター 花巻営業所 盛岡営業所
秋田営業所 秋田第3定温倉庫 福島営業所 山形営業所
東根物流センター 東根第二物流センター 東根構内事業所

関東・中部

東京営業所 新潟営業所

株式の状況

(2026年3月31日現在)

発行可能株式総数	21,712,000株
発行済株式の総数	5,651,000株
株主数	1,833名
大株主	

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
ロジスティード(株)	500,000	10.12
花澤 隆太	465,677	9.43
(株)富士ロジテックホールディングス	452,000	9.15
久保田 純子	436,024	8.83
(株)プロフィットイノベーション	285,200	5.77
久保田 賢二	177,400	3.59
久保田 晴夫	169,500	3.43
(株)七十七銀行	148,000	3.00
(有)ハナザワ・コーサン	79,779	1.61
久保田 秀揮	79,000	1.60

(注) 持株比率は自己株式(710,281株)を控除しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日
	期末配当金 毎年3月31日
	中間配当金 毎年9月30日(中間配当をする場合)
	その他必要があるときはあらかじめ公告して基準日を定めます。

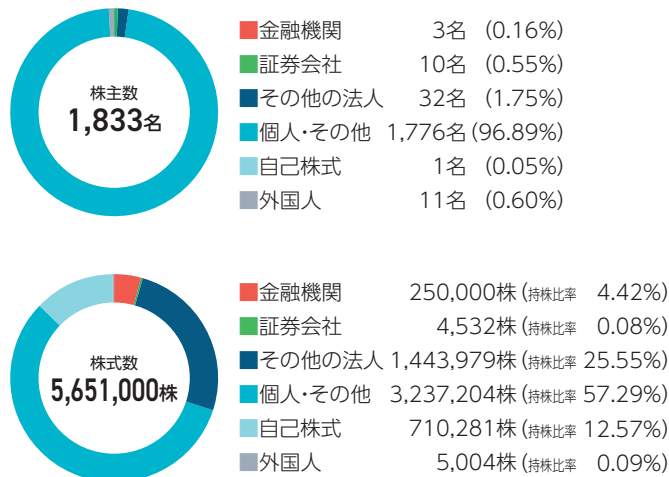
【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、右記の電話照会先にご連絡ください。なお、お手続き方法やよくある質問は、右記「よくあるご質問 (FAQ)」サイトでご確認いただけます。

株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

株式分布状況

(2026年3月31日現在)



(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031
受付時間 9:00~17:00(土日休日および12/31~1/3を除く)

(インターネットホームページURL)
<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency>
(よくあるご質問 (FAQ))
https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていない株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法	電子公告 https://www.senkon.co.jp/ir/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場

ホームページのご案内

センコン物流のホームページでは、様々な企業情報やIR・サステナビリティ関連情報をお届けしています。
個人投資家の方もより分かりやすく、親しみやすくご覧いただけます。

<https://www.senkon.co.jp>



トップページ



センコン物流とは



環境への取り組み



IR情報